新日軽

施工説明書番号 ME-2212

充電ポールチャーリー シンプルポール 施工説明書

●この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●電気工事は電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合は、必ず電気工事店へ依頼してください。
●コンセント・200V 専用タイマーの故障の際には、お近くの電気工事店・電気店へご相談ください。
●この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

⚠注意

結線や電設資材の取付けなどの電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。
※火災・漏電・感電など事故の原因になります。

注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

◎設置場所・位置について

●ガス給湯器などの熱や排気ガスが商品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。
●異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響を受けるような場所に設置しないでください。火災・感電・落下・サビの原因になります。
●施工場所に正しく納まるか確認してください。（寸法・配線・配管等）

◎施工時の注意事項

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
●基礎施工は基準通りに行ってください。また、現場の状況（軟弱地盤など）に応じて基礎の大きさを考慮してください。
●地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
●寒冷地ではポールを立ててからモルタルを詰めてください。モルタルを入れてからポールを立てると、ポール内部に水が入り凍結破損の原因になります。またポール内に水が溜まらないよう、必ず割栗石をしきつめ、ポール下部から地面に水が排水されるようにしてください。
●電設資材の配線工事は、必ず電気工事店様（有資格者）に依頼しください。
● CD 管・配線などの電設資材は、現場手配品となります。
●家側からの配管は、PF 管呼び 16 と 22 を使用してください。
●電設資材用の配線はあらかじめ 30cm 以上立ち上げておいてください。
●防水コンセント・200V 専用タイマーは別売の電設資材セットを使用してください。
● 200V 用コンセントを取付ける場合、配電盤からの 20A の専用線を引くことを推奨しています。その際は、感電事故や火災を防ぐために漏電遮断機を設置してください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●改造・変更をしないでください。
●φ 24 のホールソーが必要になります。
●カムロック錠の場合、モンキーレンチなどの工具が必要になります。
●当社指定以外の納まりで施工しないでください。

施工の流れ

配線孔の加工 ▶ 先行配管・配線の埋設 ▶ ポールの設置 ▶ 取っ手の取付け ▶ 配線 ▶ 電設資材の取付け ▶ 動作確認

配線孔の加工	先行配管・配線の埋設	ポールの設置	取っ手の取付け	配線	電設資材の取付け	動作確認
販工店様	電気工事	販工店様	販工店様	電気工事店様		

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

もくじ

注意事項……2
梱包明細……2
納まり図……2
電設資材について……3
オプション品のご案内……3
1．配線孔の加工……4
2．先行配管・配線の埋設（電気工事）……4
3．ポールの設置と配線……5
3－1ポールの設置……5
3－2ポール内の配線 (電気工事)……5
4．電設資材の取付け（電気工事）……6
4－1電設資材の取付け……6
4－2動作確認……6
5．取っ手の取付け……7
5－1カムロック錠タイプの場合……7
5－2ツマミタイプの場合……7
6．オプションの取付け……8
6－1棚板の取付け……8
6－2フックの取付け……8
6－3ベースプレートの取付け……9
7．扉の左右勝手変更……11
施工工事店様、販売店様へのお願い……12

注意事項

●施主様にご説明ください。

◎使用上の注意事項
●本体を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
●充電ポールの開閉時に手や指をはさまないよう注意してください。
●充電をする際は、充電器の取扱説明書に記載されている内容に従ってご使用ください。
●本商品は、防雨構造になっておりますが、開閉時など充電器を濡らさないように十分にご注意ください。また雨天時のご使用はご注意ください。
●自動車用充電プラグは、コンセントボックスに含まれておりません。自動車に付属の充電プラグをお使いください。また、充電プラグについては各カーディーラーまでお問い合わせください。
●自動車用充電プラグを一時的に内部へ保管することは可能ですが、日中、夜間等の長時間に及ぶ保管はしないようにしてください。
●本商品を改造したり、当社指定以外の方法で使用しないでください。
●年に一回、ネジやボルトの緩みがないか、確認してください。

◎その他の注意事項
●表示価格は部材標準価格です。組込・運搬・取付工事・電設資材費及び消費税は含まれておりません。
●住まいの状況にあわせた電気工事と電力プランの変更が必要になります。別途、電気工事店様へのお見積もりを依頼ください。
●電源や電気の工事は必ず電気工事店様、または電気店様にお任せください。電気の素人工事は大変危険ですので絶対にしないでください。
●電気工事にかかわる、誤配線・漏電などについては、電気工事士有資格者による責任施工を前提としております。不具合が発生した場合は、電気工事店様へご用命ください。
● 200V 用コンセントを取付ける場合、配電盤からの 20A の専用線を引くことを推奨しています。その際は、感電事故や火災を防ぐために漏電遮断機を設置してください。

◎免責事項
●当社免責事項に関しては、総合カタログをご参照ください。

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称		梱包内容　　表内の（ ）は個数を表しています。
充電ポールチャーリー		ポール（1）・施工説明書 [ME-2212]（1）
セット部品	カムロック錠	カムロック錠（1）・孔塞ぎシール（2）・φ 3 × 8 皿タッピン 3 種（8）・φ 4 × 16 セルフドリリングビス（6）
	ツマミ	取っ手（1）・孔塞ぎシール（2）・φ 3 × 8 皿タッピン 3 種（8）・φ 4 × 16 セルフドリリングビス（6）

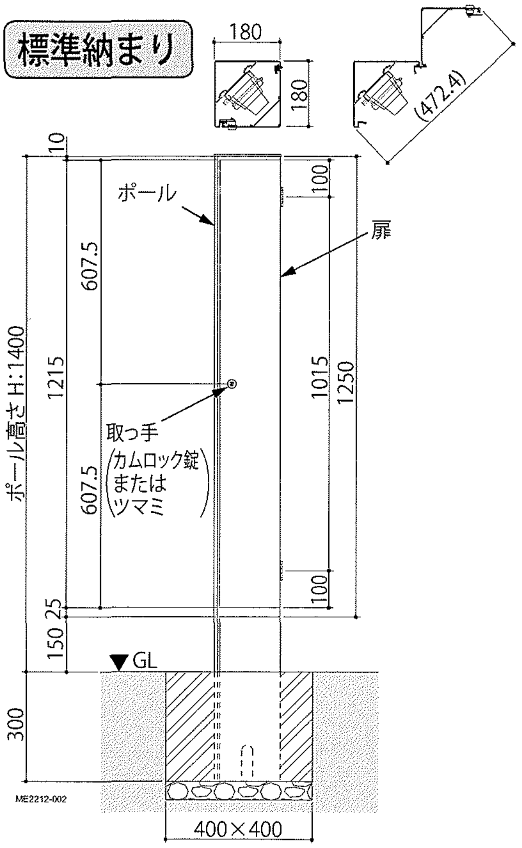
●別売品

梱包名称	梱包内容　　表内の（ ）は個数を表しています。
棚板	棚板（1）・回転裏板（2）・φ 5 × 10 トラスタッピン 3 種 [シール付]（2）
フック	フック（2）・回転裏板（2）・φ 5 × 10 トラスタッピン 3 種 [シール付]（2）
ベースプレート	ベースプレート(1)・グリップアンカー(4)・M10×25セムスボルト(4)・φ5×16トラスタッピン3種(シルバー色:16・ブロンズ色:16)

納まり図

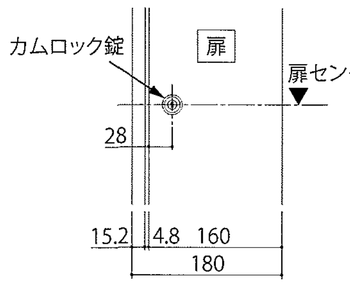
●施工前に必ず確認してください。

標準納まり

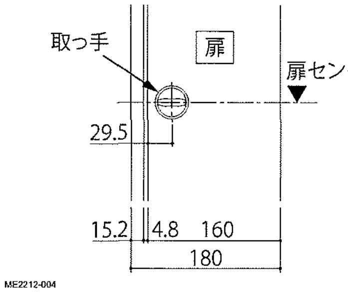


取っ手部詳細図

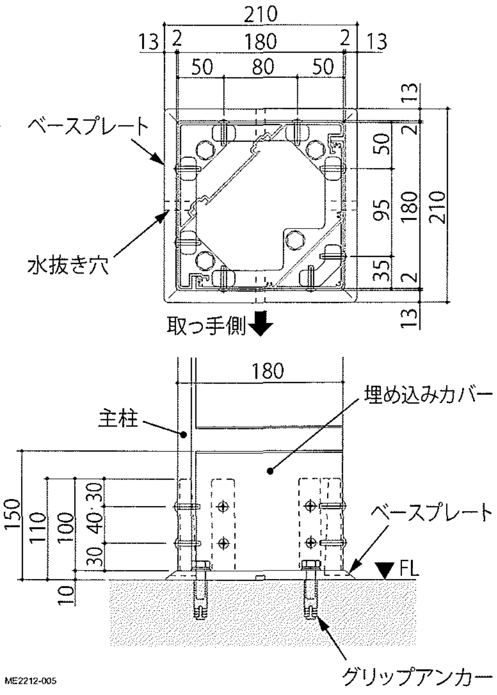
●カムロック錠タイプ



●ツマミタイプ



ベースプレート納まり

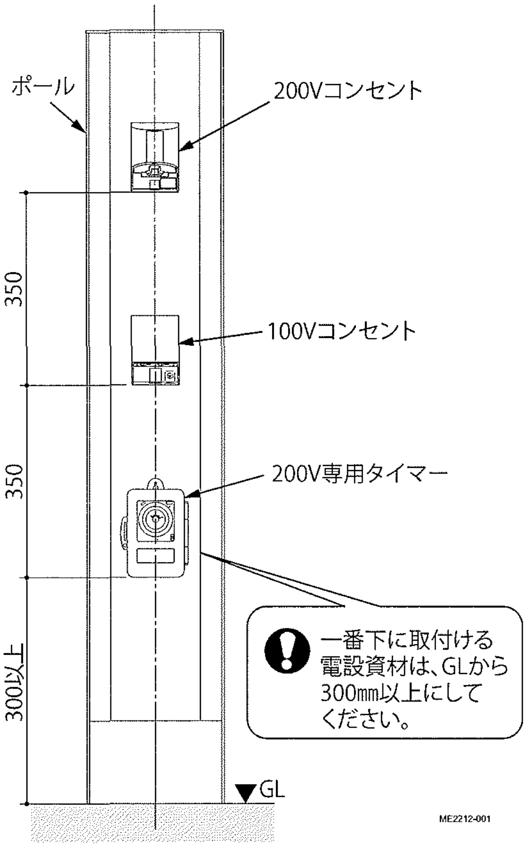


電設資材について

●防水コンセント・200V 専用タイマーなどの電設資材は、別売品を手配してください。
●ここでは、100V･200Vコンセントおよび200V専用タイマーを縦に並べた場合のイラストで説明しています。

電設資材の取付位置

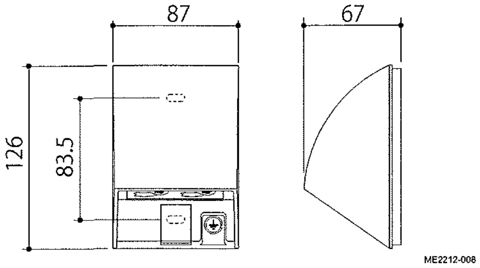
※ここでは、扉を表記しない状態のイラストで説明しています。
※電設資材の取付位置は、自由に変更出来ます。現場の状態により使い勝手を考慮して自由に組合わせてください。



別売の電設資材

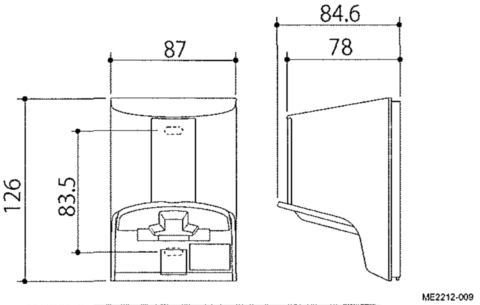
● 100V コンセント

パナソニック電工製：WK4602SK
(定格 15A 125V AC)



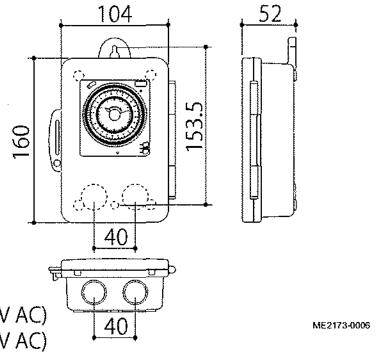
● 100V,200V コンセント

パナソニック電工製：WK4322S (定格 20A　250V AC)
WK4311S (定格 15A　125V AC)



● 200V 専用タイマー

パナソニック電工製：TB31202
(定格 15A 200V AC)



組み合わせ可否表

※定格 15A の電設資材です。
電気自動車の容量を確認の上、ご利用ください。

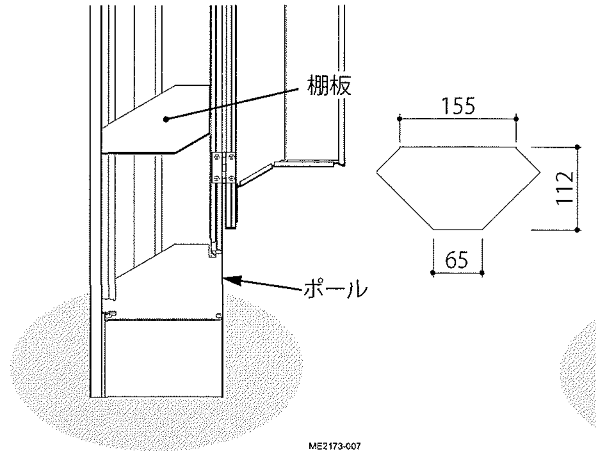
	100V コンセントのみ	200V コンセントのみ	100V+200V コンセント
200V 専用タイマーあり	×	○※	○※
200V 専用タイマーなし	○	○	○

オプションのご案内

●本商品は、下記のオプションとの組み合わせが可能です。
●それぞれの施工方法については、「6. オプションの取付け」（8 ページ）を参照してください。

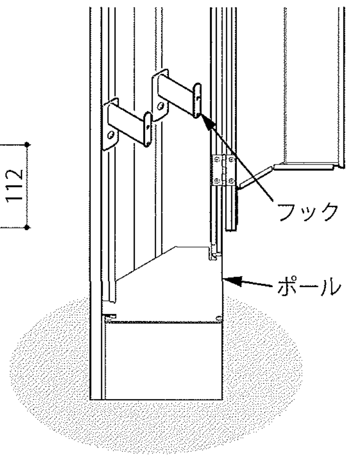
棚板

※耐荷重：20kg

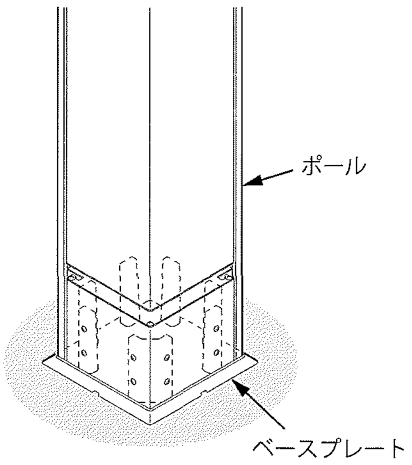


フック

※耐荷重：5kg/ 個



ベースプレート



1 配線孔の加工

●ここでは、100V・200V コンセントおよび 200V 専用タイマーを縦に並べた場合のイラストで説明しています。

①使用する電設資材に応じて、配線用に
　φ 24mm の孔をあけてください。

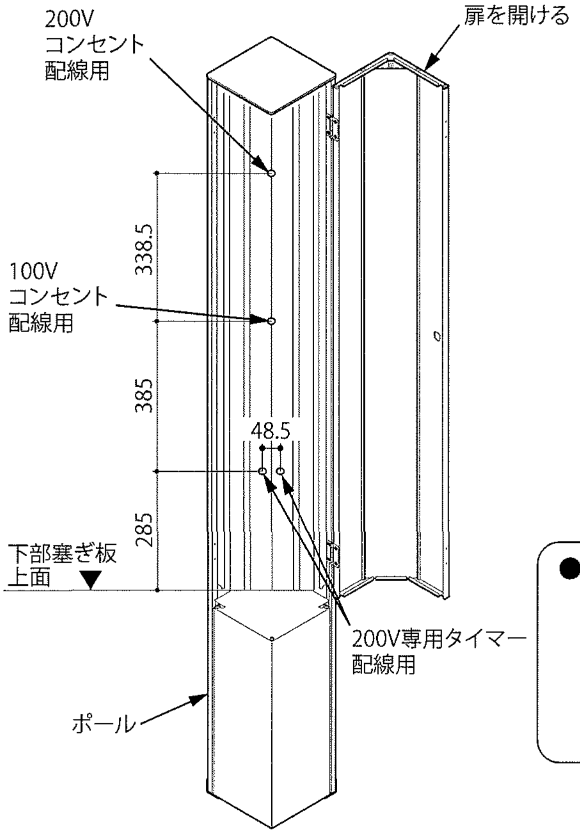
●必要な孔数

電設資材の種類	孔数
200V コンセント	1 ヶ所
100V コンセント	1 ヶ所
200V 専用タイマー	2 ヶ所

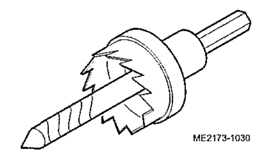
孔あけにはφ 24mm ホールソーを使用してください。

電設資材を取付ける箇所のみ、φ 24mm の孔をあけてください。

オプションの棚板やフックを取付ける場合は、使い勝手を考慮して、各電設資材、オプション類の配置を決めてください 。



●φ24mm ホールソー



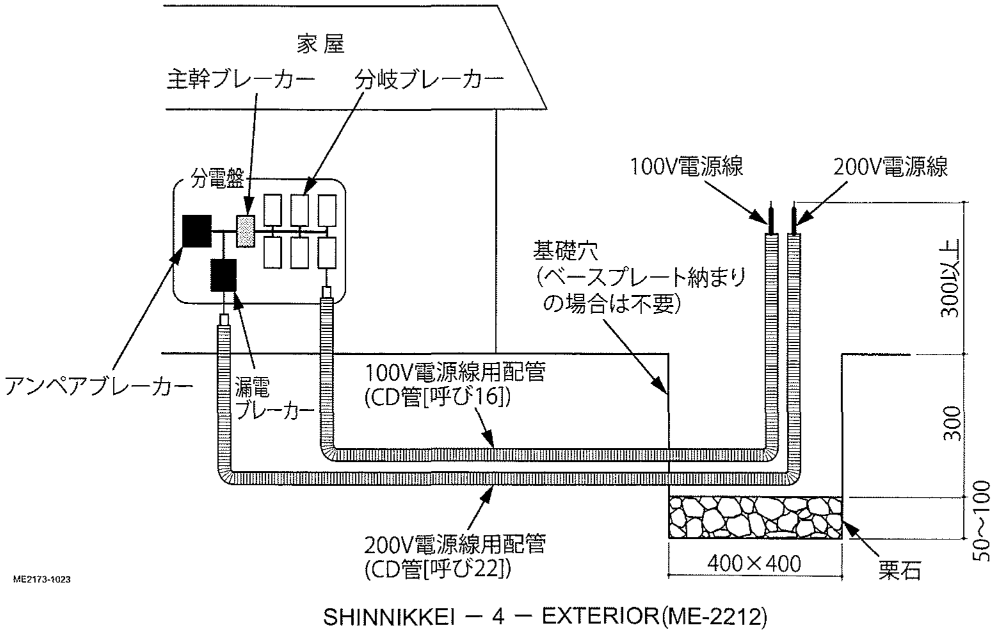
2 先行配管・配線の埋設（電気工事）

①ポールの設置場所に基礎穴を掘り、栗石を敷いてください 。
②基礎穴まで、配管および配線を埋設してください 。

ベースプレート納まり（オプション）の場合は、基礎穴は不要です。配線の埋設のみ行ってください。

⚠注意

電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。
※火災・漏電・感電など事故の原因になります。



3 ポールの設置と配線

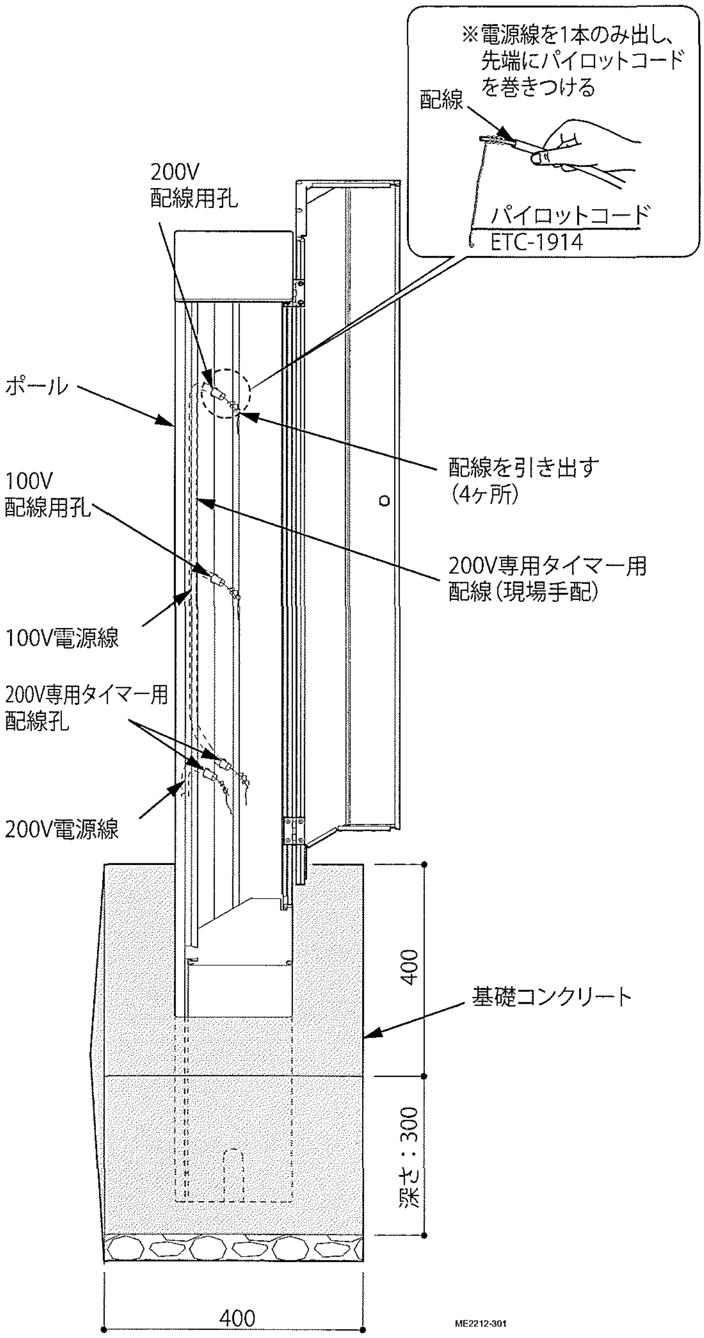
●ここでは、100V・200V コンセントおよび 200V 専用タイマーを縦に並べた場合のイラストで説明しています。

3－1 ポールの設置

①埋め込み深さ・高さ・垂直水平を調整し、コンクリートを流してポールを固定してください。

●コンクリートが固まるまで、添え木等で動かないようにしてください。
●ポールや配管内に水が入らないようにしてください。

ベースプレート納まり（オプション）の場合は、「6-3. ベースプレートの取付け」を参照してください。



3－2 ポール内の配線（電気工事）

⚠注意

電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。
※火災・漏電・感電など事故の原因になります。

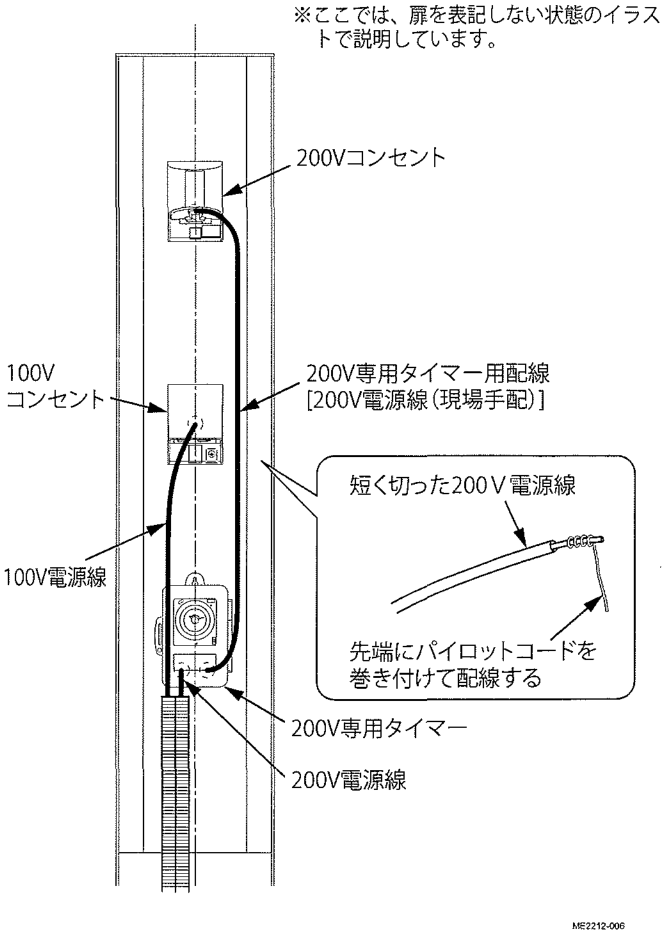
①本体に付属のパイロットコードを使用して、100V コンセント用、200V コンセント用および 200V 専用タイマー用の配線をポール外へ引出してください。

ポールから下記の配線を引出してください。
- 100V 電源線
- 200V 電源線
- 200V 専用タイマー用配線

200V 専用タイマー用の配線は 200V 用電源線を現場手配してください。

●配線図

※ここでは、扉を表記しない状態のイラストで説明しています。



4 電設資材の取付け（電気工事）

●電設資材に付属の説明書を合わせて参照してください。
●ここでは、100V・200V コンセントおよび 200V 専用タイマーを縦に並べた場合のイラストで説明しています。

4－1 電設資材の取付け

⚠注意

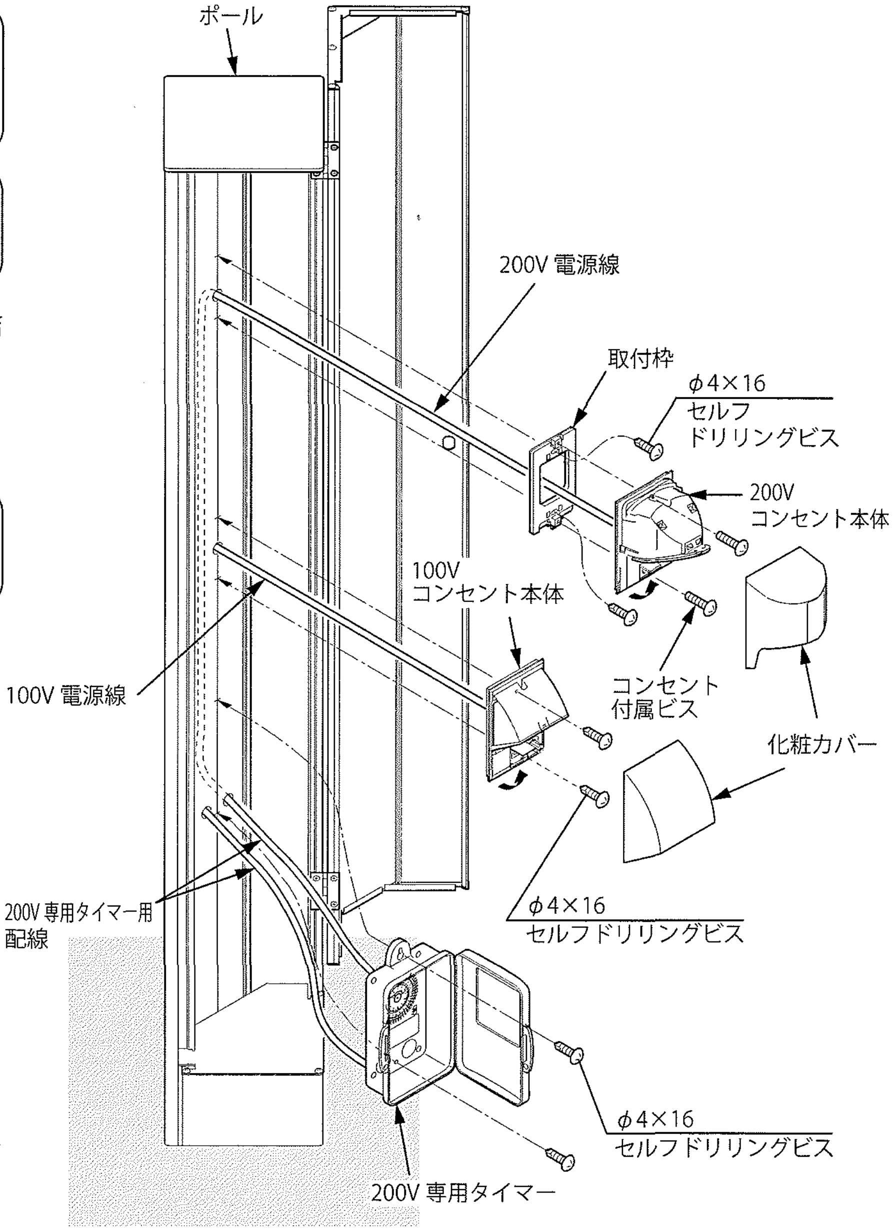
電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。
※火災・漏電・感電など事故の原因になります。

☞ 結線および取付けの詳細については、電設資材に付属の説明書を参照してください。

①ポール内より引出した配線と電設資材を結線してください。

②ポールにコンセントおよび 200V 専用タイマーを取付けてください。

☞ 取付けには、ポール本体にセットされているφ 4 × 16 セルフドリリングビスを使用してください。



ME2212-401

4－2 動作確認

①施工完了後、ブレーカーを ON にし、コンセントに電源プラグを差し込み電流が流れていることを確認してください。

② 200V 専用タイマーに付属の説明書にしたがって 200V 専用タイマーを設定し、正しく動作するか確認してください。

③確認後、ブレーカーを OFF にしてください。

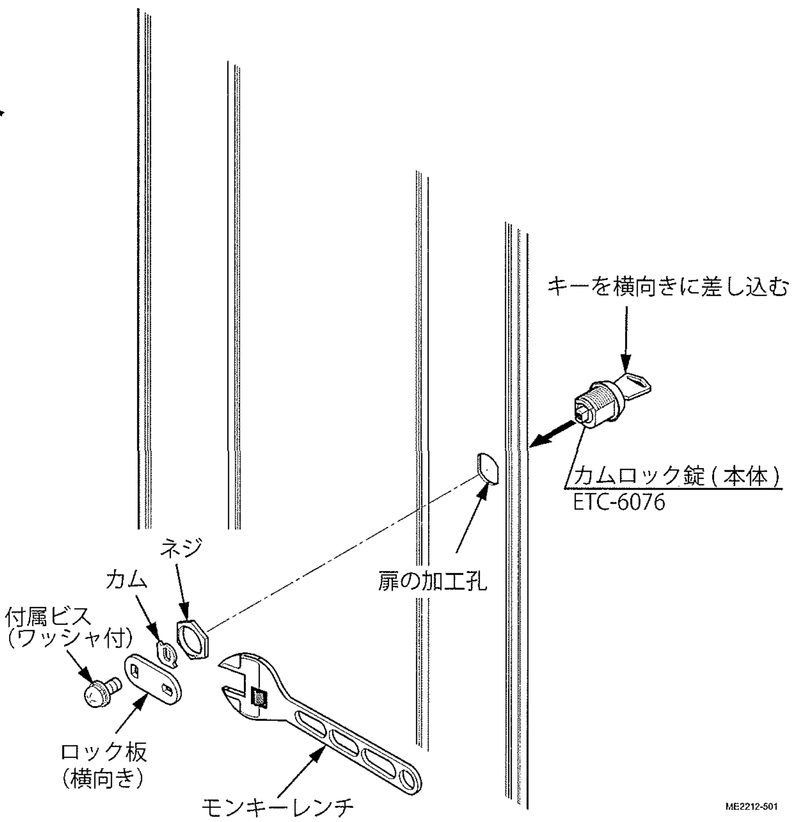
5 取っ手の取付け

●出荷時には、扉は「右勝手」に設定されています。
●「左勝手」に変更する場合は、先に「7. 扉の左右勝手変更」を行ってください。
●ここでは、「右勝手」のイラストで説明しています。

扉を「左勝手」に変更する場合は、先に「7. 扉の左右勝手変更」を行ってください。

5－1 カムロック錠タイプの場合

●扉内側より見る



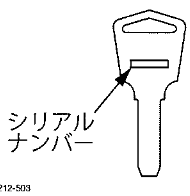
①カムロック錠（本体）を扉の加工孔に差し込んでください。

キーをカムロック錠（本体）に横向きに差し込んだ状態で、扉の加工孔に差し込んでください。

②ネジ、カムおよびロック板を右図の向きで、取付けてください。

ネジの締め付けには、モンキーレンチなどの工具を使用して確実に締付けてください。

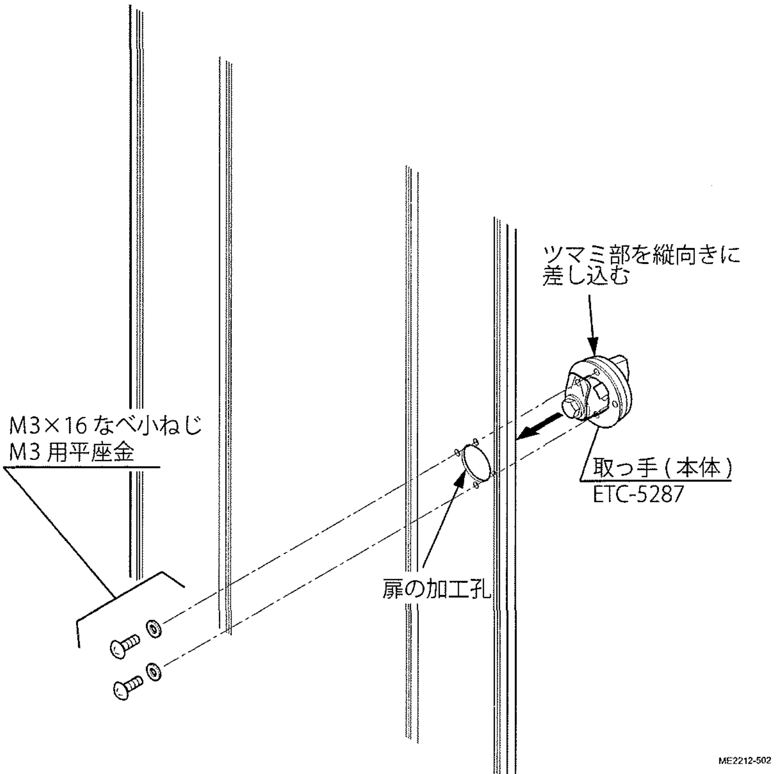
キーのシリアルナンバーは必ず、メモをしておいてください。



NO. ____________

5－2 ツマミタイプの場合

●扉内側より見る



①取っ手を扉の加工孔に差し込んでください。

取っ手のツマミ部を縦向きにして差し込んでください。

②取付ビスおよび平座金で固定してください。

取付ビスおよび平座金は取っ手に同梱のものを使用してください。

6 オプションの取付け

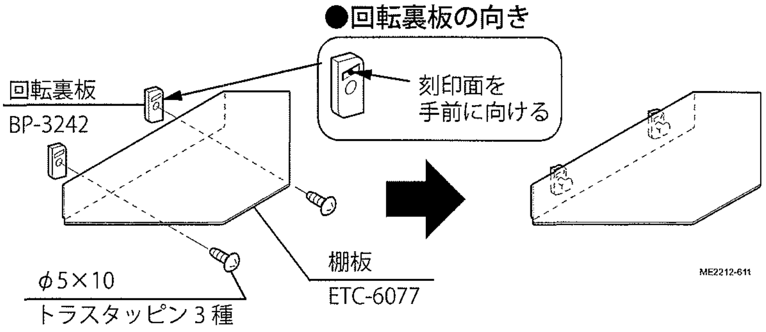
●該当するオプションの項目を参照して施工してください。

6－1 棚板の取付け

①回転裏板を棚板にビスで仮固定してください。

回転裏板の向きは必ず右図の方向に合わせてください。

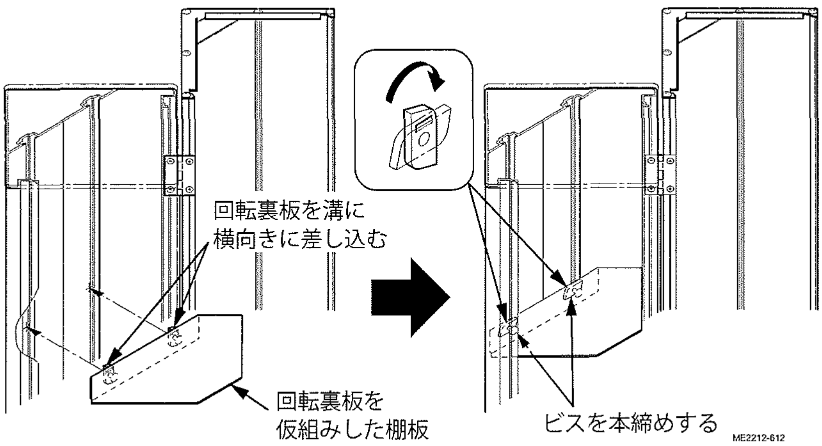
※回転裏板の向きが合ってない場合、固定できません。



②回転裏板をポールの溝に縦方向に挿入し、回転させてください。

③仮固定のビスを本締めしてください。

回転裏板が溝内に落下しないように注意してください。



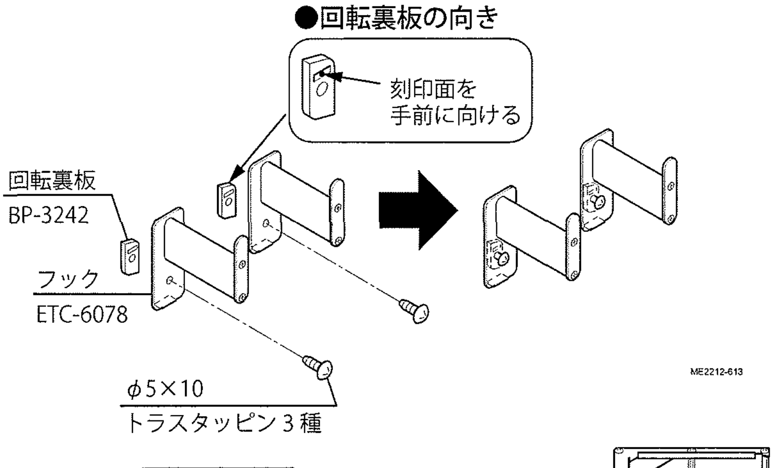
※ここでは、取付けを
わかりやすくするために、
ポールキャップを
表記しない状態の
イラストで説明しています。

6－2 フックの取付け

①回転裏板をフックにビスで仮固定してください。

回転裏板の向きは必ず右図の方向に合わせてください。

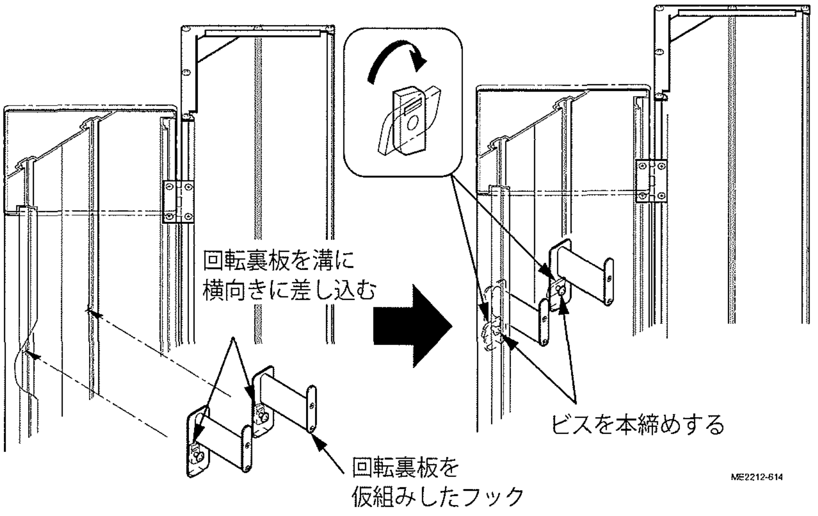
※回転裏板の向きが合ってない場合、固定できません。



②回転裏板をポールの溝に縦方向に挿入し、回転させてください。

③仮固定のビスを本締めしてください。

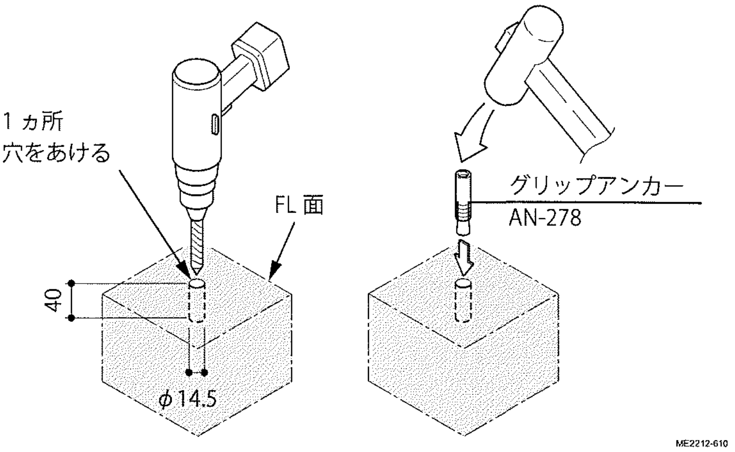
回転裏板が溝内に落下しないように注意してください。



※ここでは、取付けを
わかりやすくするために、
ポールキャップを
表記しない状態の
イラストで説明しています。

6－3 ベースプレートの取付け

6-3-1 ベースプレートのアンカー止め



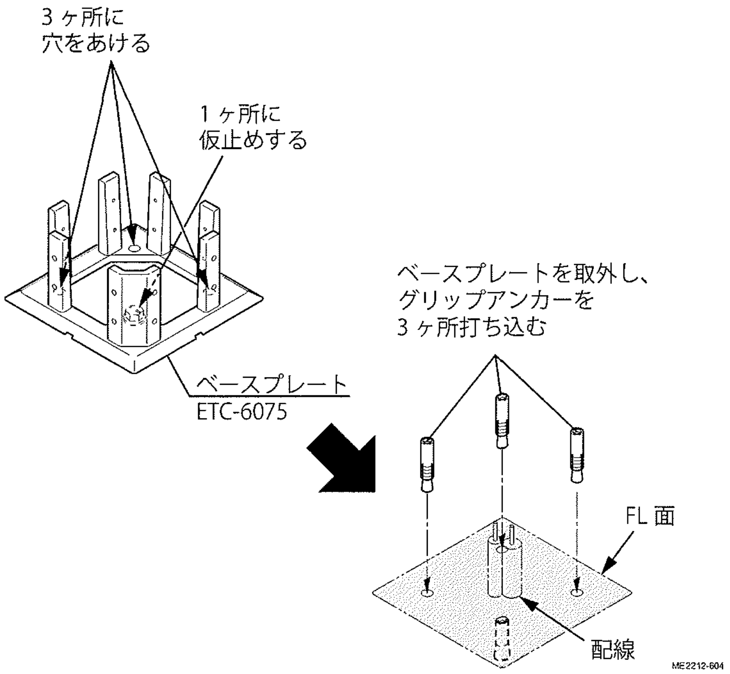
> ベースプレートは、アンカー止めを行います。下記要領で、グリップアンカーを正確な位置に打ち込んでください。

①「納まり図」を参照して、ベースプレートの位置をすみ出してください。

②コンクリート振動ドリルで FL 面にφ 14.5mm・深さ 40mm の穴を 1 ケ所のみあけ、グリップアンカーを打ち込んでください。

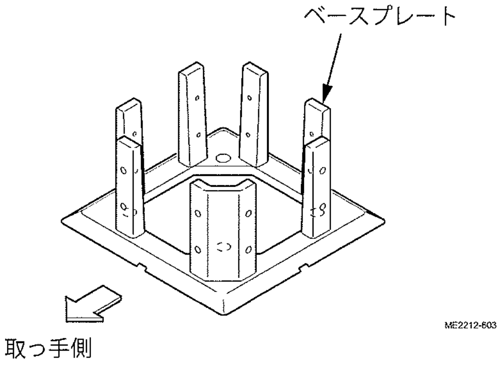
③ベースプレートをボルトで 1 ケ所仮止めしてください。

④残りの 3 ケ所の位置を決め、同寸法の穴をあけ、グリップアンカーを打ち込んでください。

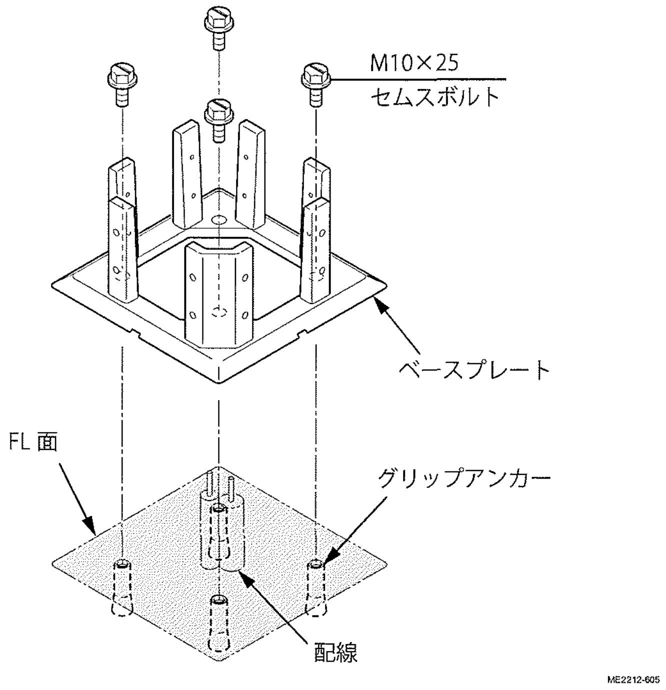


> ベースプレートには取付向きがあります。

●ベースプレートの取付向き



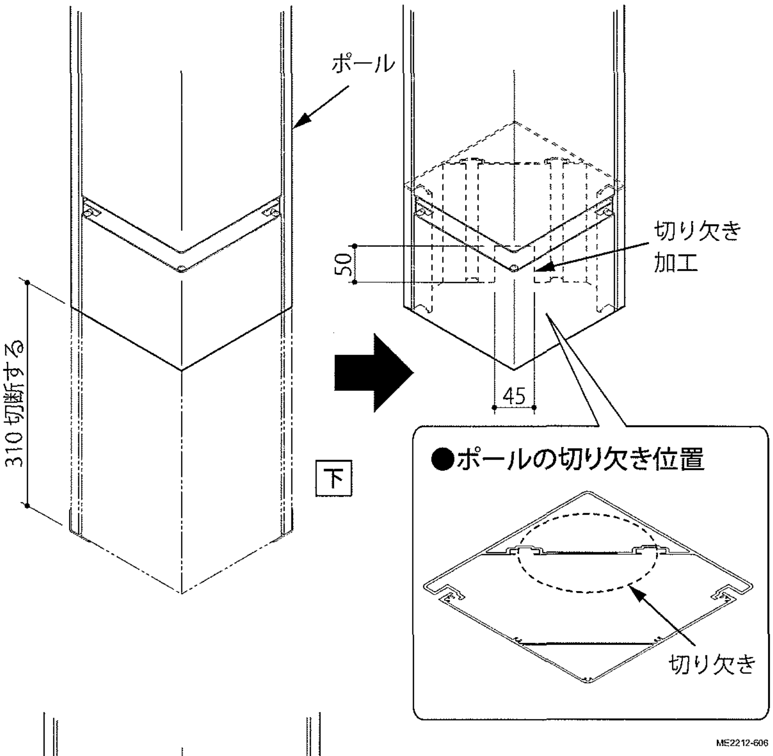
⑤ベースプレートをボルトで固定してください。



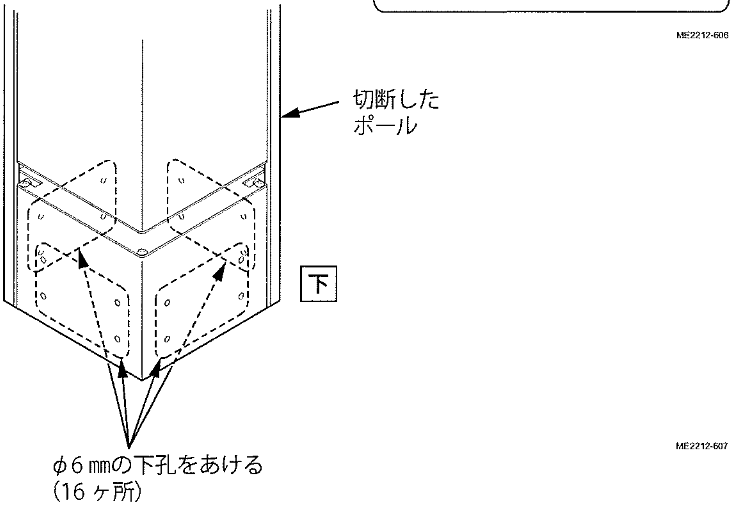
6-3-2 ポールの取付け

①ポールの下部を 310mm 切断してください。

②ポールの下部に、配線用の切り欠き加工を行ってください。

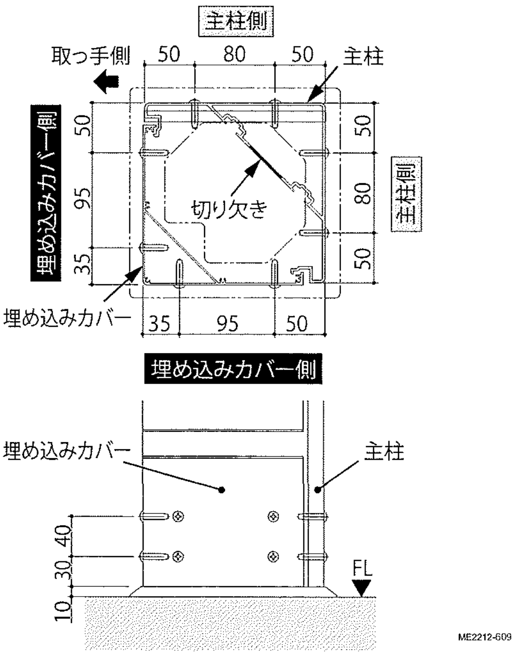


③ポールにφ 6.0mm の下孔を 16 ヶ所開けてください。



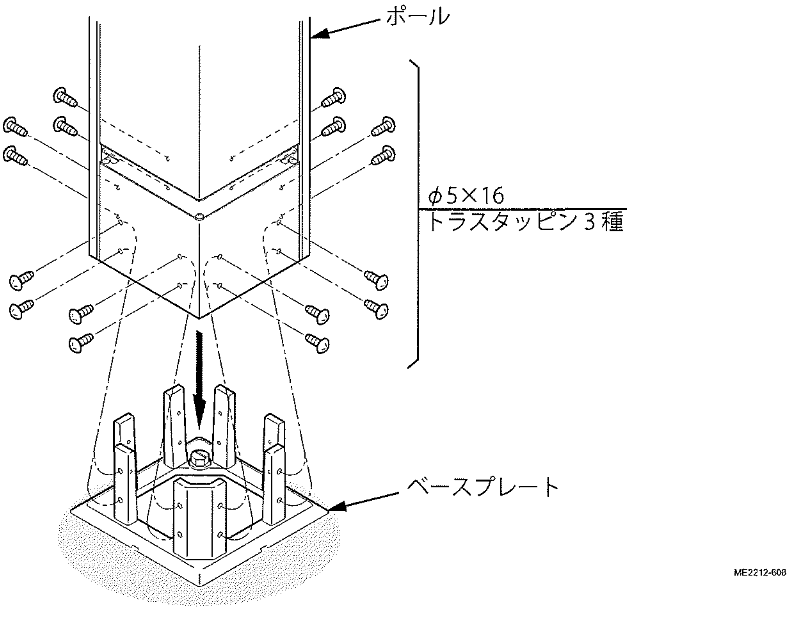
> ポールの主柱側と埋め込みカバー側とで下孔をあける位置が異なります。下図を参照して、正しい位置に下孔をあけてください。

●ポールの下孔位置



※本図は、下孔位置をビス表記で示しています。

④ポールをベースプレートに取付けてください 。



7 扉の左右勝手変更

●出荷時には、扉は「右勝手」に設定されています。
●「左勝手」に変更する場合は、下記の手順にしたがってください。

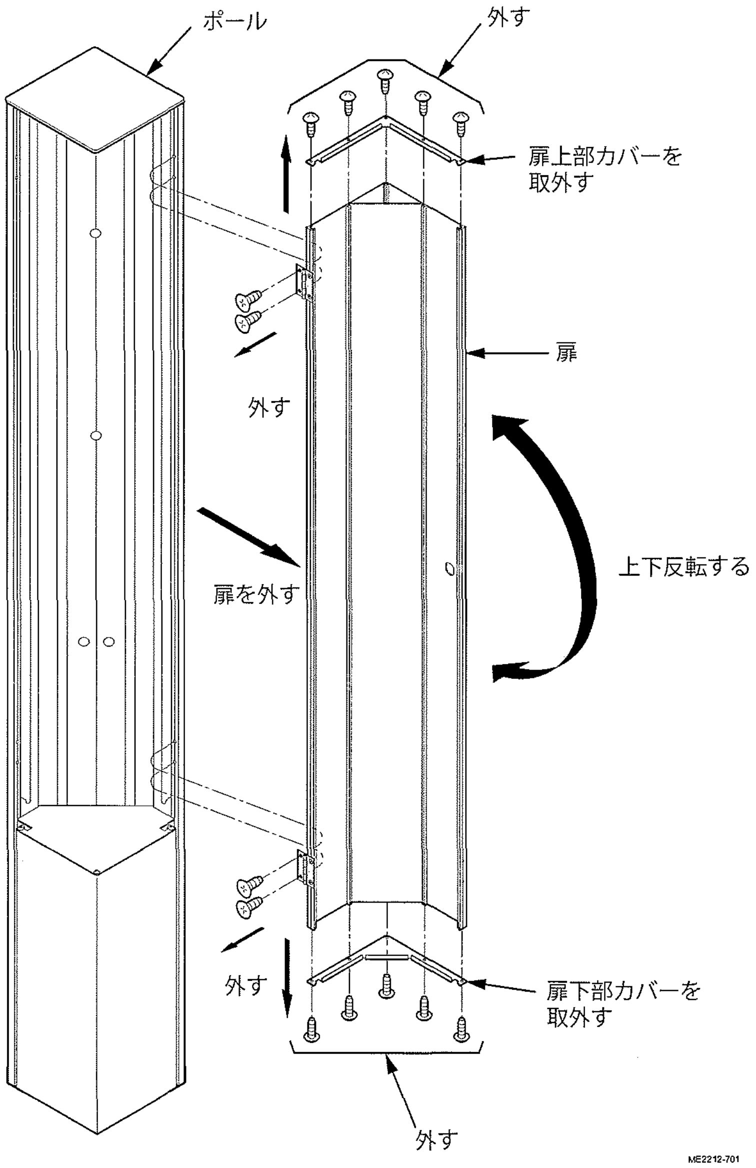
①平丁番の取付ビスを外し、扉を取外してください。

取外したビスは使用しません。

②扉上部カバーおよび扉下部カバーを取外してください。

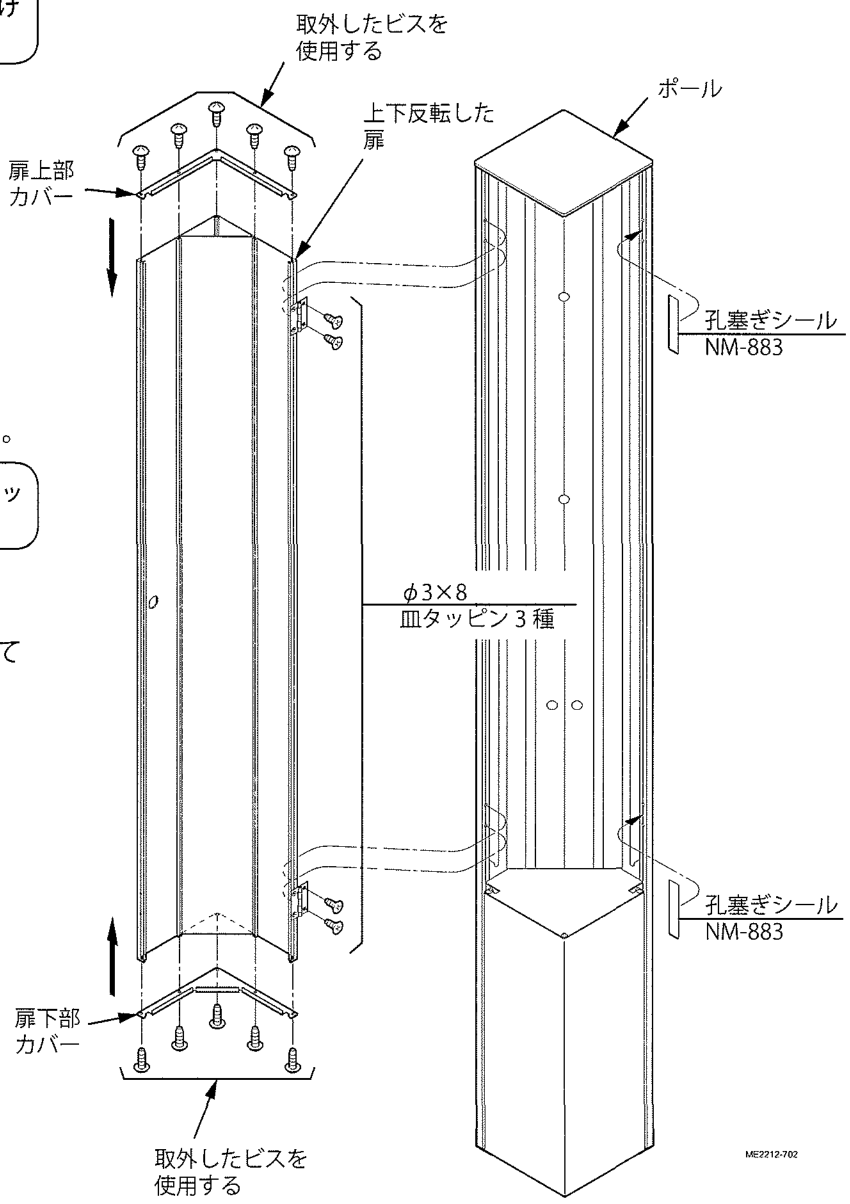
ここで取外したビスは後で使用します。

③扉を上下反転させてください。



④扉上部カバーを扉の上側に取付けてください。
⑤扉下部カバーを扉の下側に取付けてください。

「手順②」で取外したビスを使用して取付けてください。



⑥扉の平丁番を再びポールに取付けてください。

取付けには、セット部品内のφ 3 × 8 皿タッピン 3 種を使用してください。

⑦孔塞ぎシールを使用しない取付孔に貼り付けてください。

■施工工事店様、販売店様へのお願い

● 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年　　月　　日
施工工事店	TEL（　　　）　　-
販売店	TEL（　　　）　　-

新日軽株式会社
この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合せください。
お客様相談室 0120-37-2534
新日軽インターネットホームページ http://www.shinnikkei.co.jp